

印西市部活動地域移行説明会（令和7年4月13日実施）Q&A

印西市教育委員会
株式会社アーシャルデザイン

※スポーツ庁・文化庁の施策や千葉県教育委員会の指針などの動向に応じて、変更される部分も生じる可能性があることをご了承ください。また、大会主催者との協議した上で地域クラブの設置の仕方が変更される場合もございます。

Q1 現状、移行する予定のない種目についても、指導者がいる種目については検討してほしい

A1 まずは、現在、各中学校の休日に活動のある部活動の種目に焦点を当てて地域移行していく予定になります。モデル事業終了後、将来的には、子どもたちのニーズに沿って他の種目や文科系の地域クラブの設置を検討してまいります。

Q2 中学校の部活動に変化はあるのか

A2 このモデル事業は、あくまで休日の部活動の地域移行を実施する事業です。平日の部活動については、各中学校で実施します。国語部（書道部）・科学部（生物部）・美術部（創作活動部）等の部活動は平日の活動でしたので、休日の部活動地域移行に該当しておりません。

Q3 平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動の指導の連携をどうしていくのか

A3 基本的に、大会が開催される休日の地域クラブ活動で大会やコンクールに参加していく予定であります。印西市地域クラブ事務局を通じて、部活動顧問の先生と地域クラブの指導者の連携を図ります。

Q4 活動拠点への保護者の送迎について

A4 将来的には、地域クラブ活動は習い事としての要素が強いため、各家庭の責任で参加することを想定しております。生徒が自力（徒歩や自転車）で活動拠点へ通うか保護者の送迎が基本となります。状況によっては、ふれあいバスや公共交通機関で活動拠点に移動することも考えられます。

Q5 休日の部活動は廃止になるのか

A5 印西市では、令和8年9月より、市内全中学校の休日の部活動を停止します。その受け皿となる全12種目の地域クラブ活動の設置を目指しています。どの種目の地域クラブも活動拠点は、部活動の実施がなくなった市内中学校の施設を利用する予定であります。平日の部活動については、スポーツ庁・文化庁の通知や学習指導要領の記載に応じて実施いたします。

Q6 地域クラブの活動場所について

A6 今年度のモデル事業では、野球と女子バレーボールの地域クラブと各中学校の部活動が並走する形での実施になります。印西市地域クラブ事務局を通じて、各中学校のグラウンド割や体育館割と協議をして活動時間・活動場所を決定してまいります。

Q7 野球と女子バレーボールの地域クラブの在り方の違いについて

A7 千葉県教育委員会（千葉県部活動地域移行FAQ11頁より）

「自治体が主導する地域移行のための地域クラブについては、無条件で参加可能である旨、千葉県小中学校体育連盟と確認済み」とあるが、現状では、種目ごとに大会参加要件が異なる。担当課として各競技専門部と協議しながら、子どもたちが大会へ参加ができるよう地域クラブの設置をしております。

Q8 文化部の地域クラブはできるのか

A8 現状、休日の活動がある文化部は吹奏楽部のみです。この部活動地域移行の事業では、吹奏楽の地域クラブ設置の準備をしております。モデル事業終了後、将来的には、子どもたちのニーズに沿って他の種目や文科系の地域クラブの設置を検討してまいります。

Q9 教職員が指導者として指導することがあるのか

A9 兼職兼業を希望する教職員が事務局に登録して指導することは可能です。その場合、教師としてではなく、地域の大人という立場で地域クラブに関わっていきます。この地域移行で、部活動の顧問が負担になっている教職員の軽減と部活動に積極的に関わって指導したい教職員のモチベーションという両側面の働き方改革の要素を持っております。

Q10 地域クラブに参加しないと大会やコンクール参加できないのか

A10 大会やコンクールが休日に開催されることが多いから、基本的に地域クラブでの参加を予定しております。種目によって、大会参加要件が異なることから、今後も小中学校体育連盟各競技専門部や吹奏楽連盟などと協議をしてなるべく子どもたちが参加できる形で地域クラブを設置してまいります。

Q11 休日の地域クラブ活動だけでも可能か

A11 将来的には、休日の地域クラブ今年度のモデル事業では、野球地域クラブは平日も野球部に所属することが前提になります。女子バレーボール地域クラブは休日だけの参加も可能です。平日は他の種目の部活動や文化部活動に参加し、休日は女子バレーボール地域クラブに参加することはできますが、平日の部活動の休日の活動には参加できない旨の相談を顧問の先生にする必要はありません。令和8年9月からは市内の全部活動を停止し地域クラブ活動へ移行しますので、平日の活動と休日の活動は別物として考えることができるようになります。

Q12 地域クラブはどのような趣旨のクラブなのか

A12 行政主導で設置する地域クラブは、中学生の休日の部活動の受け皿として設定しております。競技力の向上や上位大会の進出を目指すことよりも、スポーツや文化芸術に触れる機会を整えるために地域移行を実施します。持続可能な活動するために、指導者をボランティアに頼るのではなく、謝金（指導料）の支払いによって持続可能な活動にすることを見込んでおります。学校部活動の顧問を専門ではない教員が担っているケースがありますが、地域クラブになると専門の指導者に指導してもらうことができより専門的な指導を受けることができます。また、既存のクラブより安価に指導を受けることができます。

厳しくても勝利を目指して活動していきたいと考えている生徒や保護者については既存のクラブやプロチームのアカデミー等に所属して競技力を目指すことも選択肢になります。

Q13 指導者の情報を得てからクラブチームに所属することはできるのか

A13 説明会でもお伝えしましたが、指導者も同時に募集・採用を予定しているため、現在指導者の情報を公開することはできません。今後、指導者の採用が決まり、クラブチームの個別説明会を開催してから地域クラブに所属することは可能です。

Q14 地域クラブの拠点になるかどうかで不平等になりますがどう対応するのか

A14 学校ごとに部活動に関する課題が変わります。大規模校は大規模校なりの課題がありますし、小規模校は部活動の統廃合など活動自体が喫緊の課題になります。その課題や不平等な部分を解消するための部活動地域移行です。

Q15 地域クラブの活動場所（駐車場・駐輪場）について

A15 クラブ活動は会場費用を支払って活動することになっております。部活動の受け皿になる行政主導の地域クラブの活動場所については、市内中学校の学校施設（グラウンド・体育館・駐車場・駐輪場）の借用を考えております。学校のご迷惑にならないようご協力ください。

Q16 吹奏楽についてはどのような地域移行をするのか

A16 活動場所（校舎内の音楽室）、楽器の使用、コンクールやコンサートの参加など運動部活動と性質が違っていると認識しております。吹奏楽連盟や吹奏楽部の顧問の先生と協議をして令和8年9月に地域クラブへと移行できるよう準備してまいります。

Q17 野球の地域クラブの方針について

A17 印西市部活動地域移行推進協議会では、子どもが自由にクラブを選択し所属することができる地域クラブを設定するのが望ましいという方針で準備しておりました。市教育委員会といたしまして、部活動実態調査の結果（野球部員の推移等）を参考に4クラブ相当と想定しておりました。市内中学校顧問の教職員千葉県小中学校体育連盟軟式野球専門部と協議し準備を進める中で、将来的に3チームの方が運営しやすいと意見をいただき、子どもたちに大会参加できる環境を整えるために、千葉県小中体連印旛支部軟式野球専門部の参加要件を満たす形で実施するため、兼職兼業で指導を望む教職員が勤務する学校を拠点にチームを編成するなど、学校現場からの意見をもとに決定しております。

Q18 小中体連や吹奏楽連盟の大会運営方針が、国や県の施策を踏まえて改革されているのか保護者には見えてきません。

A18 ご認識のとおりです。国や県の方針も流動的な部分があり、大会主催者の参加要件も専門部ごとに対応に差異がございます。市教育委員会といたしましても千葉県教育委員会や大会主催者に問い合わせ、印西市部活動地域移行の進捗や情報を市ホームページやリーフレットを通して周知していきます。

Q19 野球の拠点校の教員が指導者を希望しなかったら・・・

A19 千葉県小中学校体育連盟の示す大会参加要件だと印旛支部大会（新人戦・総合体育大会）に参加することができません。地域クラブとして出場できる大会等への参加を予定しております。

Q20 顧問会議や大会役員について

A20 今まで部活動の顧問が担っていた業務に関しては、地域クラブ指導者に担っていただく予定でおります。練習の指導や大会引率のみではなく、大会役員等も含めて地域クラブ運営事務局と雇用関係を結びます。

Q21 現在部活動サポーターとして中学校の部活動に関わっていますが、現在関わりのある拠点での指導が可能なのか

A21 地域クラブ運営事務局に採用された場合、指導者の配置については、現在の関りを考慮する予定でありますが、指導者登録数の関係でそうならない場合があることはご了承ください。

Q22 地域クラブ活動は週末だけなのか

A22 スポーツ庁・文化庁の施策、千葉県教育委員会の指針として、まず休日の部活動の地域移行を目標としてスケジュールが提示されています。将来的には、平日の部活動も地域クラブ活動へと変更していく予定でおります。

Q23 年会費や月謝について

A23 地域クラブの運営費は市費の他、受益者負担（年会費・月謝）で運営してまいります。今後、企業版ふるさと納税やスポンサー契約など、資金面の支援を受けられるよう準備をして各家庭からの負担を軽減できるよう働きかけます。

Q24 教員が地域クラブ活動の指導者になれば、今までの部活動と何が違うのか

A24 今までの学校部活動は、ボランティア同然で教職員に頼ってきました。教職員の働き方改革の面から、休日の部活動の指導や大会の運営で、育児、介護など家庭の時間を犠牲にしている教職員もいます。また、学校事情で本来指導できる専門の種目の顧問になれない教職員もいます。地域クラブ活動になると、兼職兼業を希望する教職員が、指導を希望する種目の指導者として今までの競技経験や指導経験を活かすことができます。部活動指導を負担と感じている教職員にとっても、部活動指導に熱心に関わりたいと思っている教職員にも、教職員の働き方の改善が期待されます。そして労働に対しての対価を支払うことがスポーツ庁の指針で示されています。持続可能なスポーツ・文化芸術活動にするためにも、指導者への謝金は必要になります。

Q25 部活動と地域クラブで2つの種目に取り組むことはできるのか

A25 マルチスポーツという考え方が日本でも知られるようになりました。欧米の国では、1つの種目にとらわれず複数のスポーツに取り組むことで総合的な身体能力の向上につながるとされています。印西市では、地域クラブ活動で選択した種目で大会に参加する予定でおります。

Q26 地域クラブの3年生の引退の時期について

A26 中学生対象の大会やコンクールは夏休み開催されることが多いです。その大会で引退を予定しております。3年生は進路に向けて取り組んでいきます。

Q27 チーム登録・選手登録について

A27 各競技専門部と協議しておりますが、専門部ごとにチーム登録・選手登録・大会参加等の要件が違うのが現状です。市教育委員会、地域クラブ運営事務局だけですべての種目の状況を把握することが困難な状況です。バレーボール専門部の役員の先生や第3ブロック長の先生などバレーボール部の顧問の先生方に協力いただかないとスムーズに移行する準備ができません。可能な限りご協力をお願いします。

Q28 生徒や指導者のために地域にもっと広く案内や広報してほしい

A28 ご意見ありがとうございます。市のホームページに情報を公開しております。保護者については、文書配信アプリを通しての部活動リーフレットを配信して広報していきます。また、他に周知する方法についても検討してまいります。

Q29 4月13日(日)の説明会の資料や説明会の動画を公開してほしい

A29 資料については、地域クラブ運営事務局から参加者宛てメールアドレスに送付いたしました。説明会の動画については市のホームページに公開いたします。

動画リンク : https://youtu.be/0Vgrbh_yutA

QRコード :



多くのご質問・ご意見ありがとうございました。

ご質問がある場合、印西市地域クラブ運営事務局 inzai_jimukyoku@a-cial.com